

地元高校生が題字を作成、新御城印を販売 埼玉県立嵐山史跡の博物館

埼玉県立嵐山史跡の博物館では、鎌倉時代の武蔵武士 畠山重忠が居住していたとされる「菅谷館跡」を多くの方に知っていただくため、新たな御城印を販売します。

御城印の題字「菅谷館跡」を、大妻嵐山高等学校書道部の生徒4名が4種類の字体で作成しました。

御城印は、令和5年3月29日（水）から、埼玉県立嵐山史跡の博物館にて、1枚200円（税込）で販売します。

1 御城印について

御城印とはお城を訪れた際にもらえる記念証のことです。御朱印の城版のもので、全国各地で販売されています。当館でも令和元年から販売を開始し、人気を集めています。今回、地元の方や若い層の方にも菅谷館跡について関心をもっていただきたく、菅谷館跡に隣接する大妻嵐山高等学校に協力を依頼しました。

2 題字作成者名

協力高校：大妻嵐山高等学校 書道部

隷書：松村佳奈さん（2年）

行書：中里天音さん（2年）

行書：井上理心さん（2年）

草書：向井悠華さん（2年）

【この件に関する お問い合わせ先】

〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷757 埼玉県立嵐山史跡の博物館

担当者：総務担当 相馬 メールアドレス：s625896@pref.saitama.lg.jp

電話：0493-62-5896 FAX：0493-61-1060

○松村佳奈さん題字作成（隸書）（販売期間:令和5年3月29日～6月30日）



松村さん「小筆で文字を書くのが久しぶりだったので、細かい中で綺麗な線を出すのが大変だと感じました。こだわりは、最後の払いを力強く見えるように書いたことです」

○中里天音さん題字作成（行書）（販売期間:令和5年7月1日～9月30日）



中里さん「字と字の大きさのバランスや強弱に気をつけて書きました。書き方が複雑なところが多々あり、苦勞しました。貴重な機会をいただきありがとうございます」

○井上理心さん題字作成（行書）（販売期間:令和5年10月1日～12月28日）



井上さん「文字の左右のバランスとはらうところ、字の太さ細さなど苦勞しました。たくさん練習して書いた字をお手にとっていただけることはすごく嬉しいです」

○向井悠華さん題字作成（草書）（販売期間:令和6年1月4日～3月31日）



向井さん「御城印を書くというなかなか経験できないことができ、とても良い経験になりました。心を込めて書いたので少しでも書道の良さが伝われば良いなと思います」

○その他

大きさ：A6サイズ（縦14.8cm、横10.5cm）

台紙：ユネスコ無形文化遺産 細川紙を使用

背景デザイン：当館職員作成 製作：当館にて用紙カット、印刷、朱印を手押し